

## 金沢百万石まつり

金沢百万石まつりは、6月の第1週の週末に開催される、一年のうちで最も大きな金沢の祝祭である。この祭は、1583年から1869年まで続いた、現在の石川県を含む加賀藩の時代から受け継がれてきた伝統の数々を体験できる機会だ。祭のイベントは、加賀藩初の藩主・前田利家（1537-1599）が1583年6月14日に金沢城に入城したことを記念している。

この祭の主要イベントである百万石行列は、土曜の午後に開催され、金沢駅東口から金沢城まで行進する。鼓門の正面で行われる、活気に満ちた太鼓の演奏が、行進の開始を告げる。その後、藩主・前田利家に扮し、馬に乗った役者が、16世紀の武士や貴族、姫の衣装に身を包んだ行列を先導する。行列が城に到着すると、歴史の再現と獅子舞とともに利家の入場を祝される。

もう一つの見どころは、土曜の夜に行われる百万石踊り流し。伝統的な浴衣を着た12,000人以上もの人々が、金沢のメインストリートを盆踊りで練り歩く。その華やかな祭りのムードへの参加を観客たちに促す。日が落ちた土曜日の夜、野外にて松明に照らされるなか薪能が上演されている。

「百万石」は、（一人を一年間養うのに十分な米の量とみなされた一石の）「百万石分もの米」を意味する。この言葉は、前田家によって統治された加賀藩の富と権力を示している。